

第4次地域福祉活動計画の振り返り（「協議の場」での資料より）

1. 池上校区

取組み	実績など	得られた成果・課題など	今後について
協議の場	H29.7 に開催	・地域の交流の場 ・ヨコのつながり必要 ・年1回では少ない ・各団体の強みを生かす	見直し継続 ⇒回数を増やす、他の団体とコラボする
カフェサロン	H29.8～（35-36名参加）	・若い人の参加もある ・つながりがそれなりに手来ている ・月1回以上は難しい	現状維持 ⇒効率的な情報交換の場となっている
いきいきサロン	いきいきいずみ体操(30名) 見守り（子ども・高齢者）、 清掃活動（月1回） カラオケ・おしゃべり	・積極的な支援はいやがる人も（アプローチの程度にとまどい）	現状維持 ⇒地域で「集える場」となっている
各種見守り事業	ふれあい配食 おせち配食 誕生月訪問 電話訪問	・引きこもっている高齢者には必要 ・下校時の見守りが少ない（町会だけでは人不足）	見直し継続 ⇒現状把握する必要あり ⇒長期休みなどの子どもの居場所づくり
認知症サポーター養成講座 小学生福祉講座 ⇒車いす・疑似体験	・いきいきサロンで脳トレ実施（月1回）	・地域でやってみたい	見直し継続 ⇒若い世代へのアプローチ
エプロン・Tシャツ作成		・作った方がよいが担い手がいない	現状維持 ⇒今後もPR活動に取り組む

2. 幸校区

取組み	実績	得られた成果	今後について
協議の場	H29.11～ 2ヶ月に1回	・事業の企画 ・各組織の連携	継続（充実）
ふれあいモーニング	H30.4～ 月に1回	・コミュニケーション ・情報交換等の場	継続 ⇒男性でも参加しやすいように
丸笠いきいきサロン	年間6回	・同上	（前向きな）見直し
カラオケ会		・同上	継続
見守り事業 （ ）	配食（35人） 誕プレ訪問	・個別支援、見守り	（前向きな）見直し ⇒例：周知など
敬老のイベント	春・秋	・コミュニケーション促進 ・情報発信	継続 ⇒周知が必要
認知症の取組 （サポーター養成講座）	H26	・福祉関係の学習等	見直し ⇒回数
ユニフォームでPR ⇒社協ボランティアのブルゾン・エプ ロン製作	H27、H28	・社協ボランティア活動のPR	継続